

令和3年度(2021年度)指標に対する実績評価

指標の目標年度 令和5年度

評価期間 令和3年度～令和5年度

1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標 (4項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
1-1	所蔵資料点数	482,244点	483,263点		490,000点	483,263点	98.63%	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む。)及びオンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荻崎の4交流センター図書室(以下、「4図書室」という。)で所蔵する資料(視聴覚資料・雑誌を含む。)の点数							
評価	司書資格を有する職員で構成する図書選定委員会を毎週開催し、市民からのリクエストも含めた図書購入について検討、良質な図書の収集に努めている。中央図書館の所蔵スペースでは、これ以上所蔵資料点数を増やすことが困難であるため、4交流センターへの配置変えを含めて資料の充実を図りたい。また、令和4年10月から導入予定の電子図書館の電子書籍により資料の充実を補完していく。							
1-2	個人貸出冊点数(視聴覚資料含む)	1,236,562点	1,376,860点		1,450,000点	1,376,860点	94.96%	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む。)及び4図書室での個人への貸出冊点数(団体貸出を除く。)							
評価	令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う臨時休館により、例年より少なく目標値には届かなかったが、前年度と比べて増加した。今後も感染症予防対策及び読書推進、情報発信に努め、サービスの維持向上を図りたい。							
1-3	視聴覚資料貸出点数	52,113点	51,962点		85,000点	51,962点	61.13%	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	CD・DVD・VHSビデオ等の視聴覚資料の貸出件数							
評価	視聴覚資料の貸出は、インターネット等の普及のためか減少傾向である。また、新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休館によりさらに減少した。1点当たりの購入金額が高価になることから、利用状況等を踏まえながら資料の厳選に努め、資料の充実と有効活用を図りたい。							
1-4	市民一人当たりの貸出点(冊)数	5.0点	5.6点		6.0点	5.6点	92.83%	中央図書館と4図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	市民一人当たりに対する中央図書館(自動車図書館含む。)及び4図書室で貸出した資料の点数。(視聴覚資料の貸出、団体貸出及び相互貸借借受貸出等利用者に貸出した全ての点数を9/1現在の常住人口で除して算出する。)							
評価	前年度に比べて増加したものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館もあり、目標値にはまだ届かなかった。引き続きサービスステーションや所蔵資料の維持向上に加え、感染症対策を図り、利用増に努めたい。また、電子図書館の導入による貸出点数の動向も見極めていきたい。							

2 市全体へのサービスに関する指標 (10項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-1	新規登録者数	5,190人	5,896人		6,500人	5,896人	90.71%	転入者や図書館未利用者等に対するピーアールに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	新たに図書館利用カードを作成した人数							
評価	前年度より増加したが、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、目標には届かなかった。広域利用の開始や電子図書館の導入、BMステーションの見直しなどによる登録者数の増加を期待したい。							
2-2	図書館利用カード利用者数	25,964人	28,342人		33,500人	28,342人	84.60%	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	1年間に図書館利用カードを利用して資料を借りた人数(一人の人が複数回利用した場合は一人と計算。団体貸出除く)							
評価	前年度と比較増加したが、新型コロナウイルス感染症の流行もあり目標には届かなかった。利用しやすい図書館運営に努め、また図書館利用につなげるイベント等を実施し、多くの市民の図書館活用の促進を図っていきたい。電子図書館サービスの導入が、来館困難な利用者の利用増など、どのように影響するか注目したい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-3	来館者数	393,375人	435,851人		580,000人	435,851人	75.15%	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館に来館した延人数							
評価	前年度と比較し増加したが、新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休館等により目標には届かなかった。イベントの開催や貸出利用者の増により、来館者増を図りたい。							
2-4	年間開館日数	266日	260日		293日	260日	88.74%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館日数							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休館により減少した。館内整理日や祝日開館の振替休館の見直し等により、日数増を図りたい。							
2-5	年間開館時間	2,423時間	2,450時間		2,760時間	2,450時間	88.77%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館時間							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休館により開館日数は減ったが、前年度はあった時間短縮開館がなかったため、年間開館時間はやや増加した。コロナ禍においても、感染対策を徹底しながら通常開館に努めていきたい。							
2-6	返却窓口への返却冊数	116,371冊	92,810冊		130,000冊	92,810冊	71.39%	ブックポスト等を設置することで利用者の利便性の向上に努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	4図書室、並木・広岡・大穂・豊里、島名交流センター及び市役所のブックポストに返却されて回収した図書資料の冊数							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休館等により減少した。しかし、利用の増加が見込まれるため、サービスステーションの位置や配送頻度について検討を続けたい。							
2-7	予約件数	131,036件	167,352件		120,000件	167,352件	139.46%	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館、4図書室、自動車図書館及びホームページからの予約受付件数							
評価	新型コロナ感染症により、できるだけ図書館への来館を控えたり滞在時間を短くするためか、予約件数は来館者数や貸出点数等ほどの影響は受けなかった。今後も市民サービスの維持向上を図りたい。今後予定している予約本受取可能ポイントの増設や、Webサービス利用パスワード設定の年齢制限撤廃により、さらなる増加が予想される。							
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数(簡易検索の検索件数)	371,691件	445,989件		390,000件	445,989件	114.36%	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	図書館ホームページへのアクセス件数							
評価	OPACのトップページで検索をした件数であり、詳細検索等は含まない。予約件数と同様に新型コロナウイルス感染症の影響は受けず、検索数は増加した。引き続き、読書推進活動から本への興味を増し、件数増につなげたい。							
2-9	図書館情報紙の発行回数	7回	8回		6回	8回	133.33%	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	市民向けの図書館情報紙の発行回数							
評価	図書館情報誌「ヨモッカ」及び「こどもヨモッカ」を年1回ずつ発行したほか、所蔵資料の紹介紙「とよかんの本」を2回、テーマ別の図書資料や探し方を紹介する情報紙「パスファインダー」を4回発行し、目標を達成した。引き続き市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、利用の促進を図っていきたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-10	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	23回	104回		100回	104回	104.00%	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
指標の説明	図書館ボランティア・図書館職員が実施したおはなし会・ブックトーク・パネルシアター等の開催回数							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行が収束しない中、感染対策を行いながら開催することにより目標を達成した。今後もコロナ対策を踏まえた上で、イベントを開催していきたい。							

3 高齢者、障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標（5項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,735冊	2,784冊		2,700冊	2,784冊	103.11%	大活字本の計画的な蔵書に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の所蔵冊数							
評価	計画的に購入を行って所蔵数を増やし、目標を達成することができた。読書バリアフリー法が制定され、また高齢者も増えているため、今後も計画的な蔵書構築に努めたい。							
3-2	大活字本の貸出冊数	1,960冊	2,275冊		2,300冊	2,275冊	98.91%	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やピーアールに努め、高齢の方や障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の貸出冊数							
評価	前年度と比較し増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、大活字本についても貸出冊数は目標に届かなかった。蔵書の質を高め、貸出冊数の増加を図りたい。							
3-3	外国語資料の所蔵点数	11,046冊	11,028冊		11,000冊	11,028冊	100.25%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめ、中央図書館で所蔵する児童書及び一般書の外国語資料数							
評価	計画的に購入を行って所蔵数を増やし、目標を達成することができた。外国人居住者数は今後も増加見込みであるため、引き続き外国語資料の購入予算増や、積極的な寄贈の受入れにより、所蔵点数を増やしていきたい。							
3-4	外国語資料の貸出冊数	10,672冊	10,858冊		8,500冊	10,858冊	127.74%	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実に努め、外国語資料の貸出増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	外国語資料の年間貸出冊数(児童書と一般書の合計)							
評価	所蔵外国語資料の充実を進めたためか、外国語資料の貸出点数については、新型コロナウイルス感染症の影響が小さい結果となった。今後も外国語資料を紹介するイベントを行うなど、維持向上を図りたい。							
3-5	点字資料の所蔵点数	237点	238点		230点	238点	103.48%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館のボランティアが作成した点字資料と購入した点字資料の所蔵点数							
評価	点訳ボランティアによる点字資料の作成を行い、目標を達成することができた。引き続き、点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに計画的に点字資料を購入することで、サービスの充実を図りたい。							

4 地域支援サービスに関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
4-1	自動車図書館利用人数	12,712人	9,677人		14,000人	9,677人	69.12%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(2台)の年間貸出人数							
評価	前年度増加した自動車図書館の利用者だが、令和3年度は減少し目標に達しなかった。市域が広いつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、ステーションの見直しや情報発信で更なる拡充を図りたい。また、令和4年度から運行開始の3号車を活用し、新たなサービスステーションの増設など、市内全域への図書館サービスの提供を図っていきたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
4-2	自動車図書館貸出冊数	44,415冊	37,244冊		55,000冊	37,244冊	67.72%	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(2台)での年間貸出冊数							
評価	自動車図書館の利用者と同様、貸出冊数が減少した。利用者層を反映させた図書の購入、積載図書の選書を行うなど資料の充実を図り、自動車図書館での貸出増加を図りたい。							
4-3	相互貸借貸出冊数	575冊	1,862冊		1,500冊	1,862冊	124.13%	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館が所蔵していない資料で、利用者の希望を受けて他市等の図書館から借受けをして貸出しを行った資料冊数							
評価	新型コロナウイルス感染症による臨時休館等に加え、相手方図書館の休館などもあったが大幅に増加し目標を達成した。今後も希望の資料にアクセスできるよう制度周知を図るとともに、潜在的ニーズも掘り起こせるよう情報提供をしていきたい。							

5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
5-1	レファレンス受付件数	1,389件	1,440件		1,800件	1,440件	80.00%	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館カウンター、電話、メール等でのレファレンス受付件数							
評価	前年度より微増したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標には達しなかった。引き続きサービスの周知を図るとともに、研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図り、図書館サービスの充実に努めたい。							
5-2	ボランティア登録者数	150人	166人		160人	166人	103.75%	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供を図る。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティアに登録した人数(一人で複数のボランティアに登録している場合は一人で算出)							
評価	前年度から微増し、目標を達成した。平日活動のグループが多いため、就業している方はなかなか参加できず、登録できない状態である。新たなボランティア活動を依頼、活動日の見直しを図りたい。また、配架ボランティアは、登録者が集中し年度途中で募集を締め切った。できるだけ多くの方が活動できるように工夫を考えたい。							
5-3	ボランティア活動者数	1,006人	1,557人		2,200人	1,557人	70.77%	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティア活動に参加した年間延人数							
評価	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による活動停止や見送りなどにより、活動者数は目標に達しなかった。感染防止対策や現状下での活動方法を検討していきたい。							

6 学校図書館等支援に関する指標（6項目）

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-1	団体貸出利用回数	103回	120回		150回	120回	80.00%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	団体貸出を利用した団体の延利用回数							
評価	前年度より増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、団体貸出利用回数は目標に達しなかった。団体貸出の周知とともに、団体貸出が利用しやすい環境を整えたい。							

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-2	団体貸出図書冊数	6,912冊	7,212冊		15,000冊	7,212冊	48.08%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・児童クラブ・福祉施設等の団体に対しての図書貸出冊数(1回につき、1団体300冊まで3か月間貸出可)							
評価	新型コロナウイルス感染症の影響で、団体貸出の貸出冊数は目標に達しなかった。魅力ある図書を揃えたとともに、選書、貸出、返却のしやすい環境作りを進めたい。							
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	0回	4回		10回	4回	40.00%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校・特別支援学校等による図書館見学の受入回数							
評価	新型コロナウイルス感染症の流行により、目標に達しなかった。学校等と協議を行い、実施が可能な場合は、スケジュール調整を行い、積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。							
6-4	職場体験学習受入人数	0人	0人		40人	0人	0.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	8年生(中学2年生)を対象とした職場体験の場として、中央図書館で図書館業務の体験学習を受け入れた生徒の人数							
評価	中学2年生(義務教育学校8年生)を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。新型コロナウイルス感染症の流行により、前年度に引き続き実施を見送った。学校等と協議を行い、実施が可能な場合は、スケジュール調整を行い、積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。図書館の利用者数が多くなる夏休み期間に受け入れることが多く、人員配置が課題である。							
6-5	ジュニア図書館員受入人数	0人	0人		75人	0人	0.00%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
指標の説明	4年生から6年生を対象にした図書館の業務体験事業に参加した児童数							
評価	5年生、6年生を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。新型コロナウイルス感染症の流行により、前年度に引き続き実施を見送った。職場体験学習受入れと同様に、職員の人員配置が課題となる。							
6-6	学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数	0人	49人		170人	49人	28.82%	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	学校図書館司書教諭補助員及び司書教諭等を対象に実施される研修の延参加人数							
評価	令和3年度は対面ではなく、参加者に研修動画を視聴してもらうという形式で行った。今後も対面以外の方法を検討しながら、できるだけ多くの方が参加できるよう工夫して実施していきたい。							

7 市民満足度に関する指標 (1項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R3年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
7-1	利用満足度調査の満足度	85%	78%		80%以上	78%	97.50%	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
指標の説明	年度末に、中央図書館内で利用者に対して図書館サービスについて満足しているかどうかの調査を実施する。							
評価	「満足」と「やや満足」を合計した割合は、前年度から減少し、目標の80%を下回る結果となった。今回新たに設けた自由記入欄への意見や要望をもとに改善できるところから改善し、利用者目線での図書館サービス向上を目指していきたい。							